

浅間山に抱かれた高原のまち

信州・御代田





アツモリソウ

浅間山の南に広がる高原のまち、御代田。標高700メートルから2,500メートルに位置し、春夏秋冬、美しい季節の移ろいを見せながら、浅間に抱かれるように存在しています。浅間山麓の広く豊かな自然は、私たちの暮らしや産業の礎となっています。北陸新幹線や、上信越自動車道により首都圏とのアクセスもよく、利便性と自然環境の両面においてバランスのとれた、暮らしやすい町です。



湯川

町南部を流れ、美しい渓谷を形づくっている。



露切峽

湯川随一の景勝地。渓流釣りの人気スポット。



濁川

血の池と呼ばれる源泉から流れる水は、数十メートル下流で濁川特有の茶色に変わる。



アサマジミ

本州の関東・中部地方に分布。御代田町天然記念物。準絶滅危惧種。

雄大な浅間の自然に抱かれて

御代田町誕生60周年 将来に向けた 御代田の「底力」を



御代田町長
もてき ゆうじ
茂木 祐司

昭和31年9月に「小沼」「御代田」「伍賀」の3村が合併して誕生した御代田町は、本年9月、町制施行60周年を迎えます。今日までの道程を振り返るとき、幾多の困難と曲折がありました。先人の皆さまの努力と英知に敬意を表します。

御代田町は、冷涼な気候を活用した高原野菜の栽培、精密機械工業、食品製造業などの産業を基盤として発展してきました。合併当初8千人程だった人口は約1万5千人へと増加し、平成27年度時点では生産年齢人口が長野県内77市町村のなかで3位、人口増化率が5位と少子・超高齢社会のなか、人口が増え若い世代が多く暮らす町となっています。

今後も、住民の皆さまと行政が協働して次世代へと繋がる架け橋となり、先人の皆さまが築き上げ守ってきた歴史と文化、そして壮大で豊かな自然を継承し「住みよい」そして「より魅力ある御代田町」づくりに全力で取り組んでまいります。

このたび、町制施行60周年を記念し、これまでの当町の取り組みや歩み、現在の姿を紹介する町勢要覧を発行いたしました。ご覧いただきまして、私たちのまち御代田町への一層のご理解を深めていただければ幸いです。

町名由来

明治8年「小田井」「前田原」「池田新田」「児玉新田」の4村が合併。「維新の御代」を慶賀し「御代」、そして4村にある『田』を取り『御代田』村となる。昭和31年に「小沼」「御代田」「伍賀」の3村が合併。協議会により選定した結果、『御代田』町となる。

町民憲章

わたしたちは、雄大な浅間山にいだかれた、水清く、緑豊かな高原の町、御代田の町民です。わたしたちは、この恵まれた環境の中で、先人の心を受けつぎ、町民としての誇りと責任をもって、人間性豊かな、明るい活力のある町をつくるために、ここに御代田町民憲章を定めます。

- 一、緑あふれる自然を大切に、美しい環境の町をつくります。
- 一、教養を高め、かおり高い文化の町をつくります。
- 一、働くことに、誇りと喜びをもち、伸びゆく産業の町をつくります。
- 一、思いやりの輪をひろげ、心のふれあう、あたたかな町をつくります。
- 一、からだをきたえ、生き生きとした、明るい町をつくります。

(昭和62年9月25日制定)



町花/ヤマユリ



町木/いちい



町章

御代田町の ㊦ ㊧ ㊨ を表し町が ㊩ (力) づよく発展することを願うと共に ㊪ (鳥) が未来へ飛びたんとする様を圖案化したもので昭和42年8月25日に制定。



シンボルマーク

町の花であり、御代田町の自然を表現するヤマユリをモチーフに、花の下に浅間山の稜線と煙を表現する柔らかな曲線で構成しています。花のおしべの部分の赤は、町の農業、商・工業、観光と自然・人・ふれあいを表現しています。



ふるさと大橋



未来に駆け出す子どもたち

運動会(雪窓保育園)

大林児童館増築。東原児童館新築。高学年の受け入れ。充実する児童館。

放課後における児童の居場所の対策をはじめ、親子の交流、子育て相談を目的とした活動等の拠点として児童館を設置し、各児童館で事業を実施しています。児童クラブでは、高学年の受け入れを平成28年度より大林児童館にて開始し、東原児童館では平成29年度より開始します。



大林児童館



東原児童館

豊かな人間性としなやかな社会性を育み、明日を担う人づくりのために

小・中学校

町内には、小学校2校、中学校1校があります。御代田町では、学校と地域社会がともに子どもを育てる信州型コミュニティスクールの推進をしています。体験型学習や地域学習などを通して、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育成していきます。



御代田中学校



御代田南小学校



御代田北小学校

幼稚園・保育園



やまゆり保育園



雪窓保育園



たんぼぼ保育園



保育園つくしんぼ



杉の子幼稚園

待機児童
ゼロ!

町内には公立保育園2園、私立保育園2園、私立幼稚園1園の計5園があります。それぞれの理念のもと、特色ある園を運営し、待機児童ゼロを実現しています。

歓声が町に響いて



子どもたちの未来のために、 子育て支援の充実。

安心して子育てができるまちづくりに力を注ぎ、子育て支援、サポート体制を充実させています。子どもたちの健全な発育のために、子育てをされる保護者の方々の交流の場や相談活動を推進していきます。

みんな裸足で運動会

町民芝生広場で、裸足になって運動、レクリエーションを行い、子どもたちの相互交流を図っています。平成21年町民広場の天然芝生を記念して始めた事業です。裸足の気持ちよさを、たっぷり体験。



親子ふれ愛料理教室

食の大切さ、作る喜びを、地元の食材を使った料理実習から親子で学ぶ教室です。



なんでも体験隊

親子で農作業を通じて食べ物の大切さを学び、分からないことは農業者の方が教えてください。リピーターも多く評判。



こども自然探検隊

浅間山の恵みである豊かな自然を次の世代に繋げていくために、子どもたちが自然に親しむ活動を行っています。
●主な活動内容…浅間山麓の植物、野鳥、水資源などの観察／町内民話、伝説めぐり／キャンプ 他

安心して子育てができる まちをめざして

健康

こんにちは赤ちゃん事業

新生児の子どもと母親を対象とし、生後1ヶ月の時期に保健師が家庭訪問し、育児や産婦の健康について相談を受けています。



乳幼児教室

●ふれあい教室

2～3ヶ月児と保護者を対象とし、子育てフリーティング、身体測定、赤ちゃん体操、離乳食の準備のための教室です。

●モグモグ教室

7～8ヶ月児と保護者が対象で、離乳食の正しい進め方と、かむ機能についての教室です。

●2歳児すくすく教室

親子遊び、虫歯予防といった個別相談などを行う教室です。

●5歳児健やか教室・相談会

5歳児の成長・発達を子どもの遊び等を通して保護者の方と一緒に考える機会を持ち、併せて個別相談を実施しています。



乳幼児健康診査

4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳を対象に身体計測、内科診察を中心に、成長段階に応じた、各種検査、指導と個別相談を実施しています。

定期予防接種

乳幼児にBCG、四種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、麻疹及び風しん、日本脳炎、B型肝炎ワクチン(H28年10月開始)を実施しています。高齢者には、肺炎球菌、インフルエンザ予防接種を実施しています。



ふれ あい



ひだまりっこ

未就園児を対象に、親子でできる遊び、体操、絵本の読み聞かせなどを行っています。



にここ広場 (やまゆり・雪窓保育園)

未就園児に保育園の様子を知ってもらうため、在園児と交流をしながら保育園で半日過ごしていただきます。

いつまでも、
笑顔で、健康であるために



活躍の場を広げるはつらつサポーター

特定健康診査

国民健康保険に加入する40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施しています。脳血管疾患や心臓病などの生活習慣病を早期発見・早期予防するための取り組みです。

がん検診

大腸がん検診、胃検診、結核・肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診を実施しています。



町でのポールウォーキング



健康づくりのつどい、
健康づくり講演会、健康料理教室
健康について知識を深め、食生活の改善、運動習慣
の確立を多面的に支援しています。

助け合い、やさしく寄り添う

超高齢社会を迎えたなか、年齢や障害の有無などに関わらず、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者福祉の充実や、健康に生活するための環境づくりを推進しています。御代田町社会福祉協議会やNPO法人はつらつサポーターなどの関係機関と連携し、地域で支え合う仕組みを構築していきます。



老人スポーツ大会



交流サロン

高齢者や支援を必要とする人が、ネットワークをつくり、幅広い交流を通して、住み慣れた地域での生活が継続できることを目的とする交流サロン。ボランティアの方々により支えられ、30近い会が町内各所で活動しています。



はつらつ介護予防教室

はつらつサポーターによるオリジナル体操などを通して、介護の予防に取り組んでいます。教室では、日頃困っていることなどの相談もできます。

介護予防教室

60歳以上の高齢者を対象に、健康寿命を延ばす目的で、介護予防について基本的な知識や認知症予防の音楽療法などの教室を、専門家を講師に招き年24回開催しています。

総合相談の窓口

在宅生活を支える「相談窓口」として、地域包括支援センターが設置されています。介護や介護予防、医療、福祉などあらゆる相談を保健師・社会福祉士、主任ケアマネージャーなど専門家が連携して対応しています。

移送支援

要介護認定者や障害者を対象にした送迎を行うサービスを、御代田町社会福祉協議会が担っています。また、平成28年10月より要支援者などを対象にした、町の移送支援事業を開始します。通院や買い物など「生活の足」として活用いただけます。



やまゆり共同作業所

障害者の社会復帰を支援しています。手作りのカゴは人気商品のひとつです。



シルバー人材センター

草刈りや家事代行など地域の日常生活に密着した就業機会を提供することで、高齢者の「活躍の場」をつくり、「生涯現役社会」の実現に役割を果たしています。

学ぶ、鍛える、集う、伝える

整った環境で人気のフレンドリー図書館

図書館ボランティアのみなさんに協力いただき、幼児から高齢者まで気軽に利用できる図書館を目指した結果、町外からの人気も高い図書館となりました。今後もさらに図書の補充、環境整備に努め、町民の生涯学習を支援していきます。



親子のふれ愛絵本事業

「親子のふれ愛絵本事業」では10ヵ月児健診対象児に絵本をプレゼントし、絵本を通した親子のふれあいを促進しています。

読みトモみよたっ子(セカンドブック事業)

読書習慣を身に付けてもらうため、新1年生に図書をプレゼントしています。

おはなし会

毎月行われるおはなし会。図書館ボランティアの方が絵本の読み聞かせをしてくれます。



おはなし会

浅間山の風土が生んだ暮らしと風習を伝える

先人たちが築き伝えてきた数多くの有形無形の文化財や伝統文化が現代まで受け継がれています。



道祖神まつり

子どもたちの安全と幸福を祈願し、わら馬を引き回す伝統行事で、小田井、塩野地区で行われています。



どんど焼き

小正月(1月15日)の前後に、正月のしめ縄、門松、書き初めを集め火を焚く行事が、各地区で行われます。手作りのまゆ玉を持ち寄り、この火で焼いて食べ、一年の健康を祈ります。



寒の水

草越地区に伝わる伝統行事。寒さの厳しい大寒の夜(毎年1月20日)に行われ、水をかぶりながら、わらじで凍てつく道を歩きます。平成元年、県無形民俗文化財の指定を受けました。



アンギン織りを着て火おこし

浅間縄文ミュージアム

「エコールみよた」にある「浅間縄文ミュージアム」は、町内の川原田遺跡から出土した焼町土器と、縄文時代の住居や食べものなどを紹介しています。この施設の大きな特徴は、「縄文体験工房」。縄文時代の土器、まが玉を作ったり、原始時代の方法で火を起こすなど、さまざまな体験ができ、県外からも多くの来館者が訪れています。2階には、活火山浅間山の歴史や自然に関する展示がされています。



きなんしまつり

総合文化展と芸能発表会が行われます。町内で活動するグループや個人が日頃の活動の成果を発表する場です。



しめ縄作り

思いを込めて作ったしめ縄は「福を呼び込む」と言われています。世代を超えての交流も楽しみのひとつです。



町民運動会

毎年、10月に開催される町民運動会は、40回を超えています。笑い声と声援が、秋の空に響きます。

信州みよた クラインガルテン大星の杜・面替



自然にふれあい、農作業体験ができる滞在型市民農園が平成27年度に完成しました。農作業を通した都市住民との交流を創造し、地域の活性化を図ります。



十日夜(とうかんや)

子どもたちが稲わらを束ね、わら鉄砲を作り、歌いながら地面を叩き、豊作を祝います。



真楽寺三重塔(長野県宝)

1751年完成。高さ20.776メートル。県内に残る11の塔のひとつ。真楽寺は587年、浅間山の鎮護の祈願所として建立され、1145年現在の場所に移されたと言われています。古刹にふさわしいたずまいが広がっています。



中山道小田井宿「姫の宿」

江戸時代の主要な交通路であった北国街道と中山道は、その名残を留め今もなお、生活道路として親しまれています。中山道の小田井宿は姫君が泊まることが多いことから別名「姫の宿」と呼ばれ、残された建物や史跡から当時をしのぶことができます。

スポーツ少年団

町内には9つのスポーツ少年団があり、活発な活動を行っています。



ミニバスケットボール



バレーボール



硬式テニス



少年軟式野球(南)



少年軟式野球(北)



サッカー



空手道



SAQ



ジュニアカーリング

まつりに集まる、みよたの心



龍神まつり

(毎年7月最終土曜開催)

甲賀三郎伝説に基づいた夏を代表するお祭りです。全長45メートルと30メートルの龍は、真楽寺での開眼式の後、駅前・龍神の杜公園に移動。ステージ発表や、龍神太鼓、舞踊流しなど夜9時まで賑わいます。



浅間しゃくなげ公園まつり

しゃくなげが見頃となる春に開催されるお祭りです。100本以上のしゃくなげが咲き誇るなか、地元の食材を使った飲食屋台やさまざまな催しが楽しめます。



小田井宿まつり

文久元年、皇女和宮が降嫁の際、小田井宿に立ち寄り、給仕の少年が人形を拝領したと伝えられています。その様子を地域住民の手作りによって再現したお祭りです。毎年8月16日に開催。

ふれあい広場

御代田町社会福祉協議会が中心となって毎年5月に開催。近隣市町村の共同作業所や、各区の屋台も出店。ステージでもさまざまな発表がされ、年々盛大になっています。



冷涼な気候に恵まれ、ブランドとして成長した高原野菜



レタスの収穫

農業経営基盤の強化と、担い手の育成確保に向けて

冷涼な気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培が盛んで、県内有数の産地として全国に知られています。しかし、御代田町でも農業者の高齢化や耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は深刻です。新規就農者の育成支援や耕作放棄地の有効活用、農業の6次産業化などにより、この地域が優良な生産地であり続けるよう、個性と競争力のある農業を推進していきます。



ブロッコリー



黄金の稲穂

澄んだ空気と豊かな水を利用し、発展する精密機器・食品加工業



ミネベア株



レーマン製菓株



シチズンファインデバイス株



日穀製粉株



シチズンマシナリー株



ミネベア(株)が製造する外径1.5mmのスチール製ボールベアリングが、平成27年5月に世界最小の量産可能なボールベアリングとして、ギネス世界記録に認定されました。

御代田町の主な工場誘致

●昭和35年御代田精密株(現シチズンファインデバイス株) ●昭和37年レーマン製菓株 ●昭和38年日本ミネチュアベアリング(現ミネベア株)、シメオ精密株(現シチズンファインデバイス株) ●昭和42年オークサレディコン株(現信濃生コン) ●昭和43年浜野皮革工芸株 ●昭和47年アサヒ紙工株 ●昭和58年シチズン精機株(現シチズンマシナリー株)、平和産業株 ●平成17年日穀製粉株

御代田町の認定特産品(平成28年度 現在)

- 御代田のお菓子
- 手作り味噌・昔ながら
- 七割そば
- 古代米(紫黒米)
- おにかけうどん
- 兎巾みそ(キビ入り)
- 信州八割そば
- 中山道・心楽deあん
- 石臼挽きそば
- 純そば茶
- ピンパッジ・エンブレム



人と自然が共生する 安全で快適な環境・循環型のまちづくり



安全・安心な水を届け、美しい水を守る

上水道は、全て豊富な湧水と地下水を水源としています。また下水道の整備や合併処理浄化槽の設置により水洗化率が高く、清潔な生活環境と河川や地下水の水質が保全されています。



上水道 塩野配水池



公共下水道 浄化管理センター



杉の子幼稚園前道路拡幅工事

道路網整備

国道、県道、町道によって構成される当町の道路網。安全性、緊急度の観点から逐次要望、整備を行っています。同時に、既存道路や橋りょうなどの施設における長寿化を図り、計画的・効率的な維持補修に努めています。



栄橋（平成26年7月竣工）



生命・財産を守り、安心して暮らせるまちのための消防・防災体制

地震・噴火・異常気象など、さまざまな災害に対応した減災・防災体制の整備をして、住民・事業者・行政がそれぞれの役割を發揮し、災害に強いまちづくりを進めています。また、町では非常食用料や毛布を備蓄するとともに、15団体と協定を締結し、災害時に物資やサービスの支援を受ける体制を整えています。



地域防災体制の中核的存在・消防団

自主防災組織

「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもと、近年、町内の各地区で自主防災組織の取り組みが進んでいます。

防災行政無線・メール配信サービス

速やかな情報伝達は、災害時の避難・救助・救援活動に大きな役割を果たします。町では、防災行政無線とメール配信サービスによる伝達体制を整備しています。また、平常時には行政情報の伝達に使用しています。



塩野区自主防災訓練

住民協働による 魅力あるまちづくり



町長 茂木 祐司



副町長 渡邊 晴雄



教育長 櫻井 雄一



議長 古越 弘



副議長 池田 健一郎

地方分権が進んだ現代において、まちづくりは地方自治体が自ら選択し、行動することが必要です。同時に、住民と行政が適切に役割分担をしながら、協働してまちづくりを行うことが持続可能なまちをつくれます。この考えに基づき、御代田町は、平成28年3月に策定した第5次御代田町長期振興計画において、個人自らが行う「自助」、個人でできないことを家族や地域の取り組みのなかで解決する「共助」、それでも解決できない問

題は行政が担う「公助」の3つを基本としてまちづくりを進めることとしました。また、日本全体で少子・超高齢化が進み人口が減少するなか、各地方自治体は存続を掛けて、独自に魅力ある政策を展開していかなければなりません。平成27年度に策定した「御代田町人口ビジョン・総合戦略」により、雇用創出や地域活性化など、地方創生への取り組みを進め、「御代田町に住みたい、住んで良かった」と言われるまちづくりを行います。

平成27年版 長野県100の指標より

御代田町 長野県内(77市町村) ランキング

人口 若い世代が暮らすまち

■年少人口割合 **第7位** ■生産年齢人口割合 **第3位**

年少人口割合とは0歳から14歳まで、生産年齢人口割合とは15歳から64歳までの人口の御代田町人口に対する割合です。年少人口割合は14.5%、生産年齢人口割合は60.9%。御代田町では、育児と仕事の両立できる環境整備に取り組むなど、積極的に子育て支援を進めています。今後も、若い世代を応援し、子どもたちの声があふれるまちづくりを進めます。

人口が増えている活気のあるまち

■人口増加率 ■人口増加数 ■社会増加率 ■社会増加数 ■転入率
第5位 第5位 第4位 第4位 第5位

人口増加数、人口増加率ともに上位です。日本が人口減少社会に突入する中で、御代田町の人口は年々増加しています。特に御代田町は、上信越自動車道の開通、北陸新幹線の開業による首都圏からの流入人口、近隣の市町村からの転入者が多くなっています。平成8年から超長期目標「2万人公園都市構想」を掲げ、魅力ある住みたいまちづくりに取り組むことにより、人口が増加する活気あふれるまちになっています。

経済基盤 企業誘致により働く仲間の多いまち

■1事業所当たり従業員数 **第3位**

御代田町は、昭和30年代から企業誘致を積極的に進めてきました。主な企業は、ミネベア(株)、シチズングループといった精密機器工場、(株)レーマンや日穀製粉(株)といった食品工場です。御代田町の冷涼乾燥な気候が適した企業が多く、佐久地域の中でも従業員数30名以上の大規模事業所が多いまちと言えます。現在は、設備投資補助金や制度資金あつ旋を柱とした「御代田町商工業振興条例」により企業を応援しています。

住居・環境 住みよい環境が愛されるまち

■新築着工住宅割合 **第4位** ■道路舗装率 **第3位**

御代田町は、転入されてくる方も含め住宅を新築し、住み続ける方が多いまちです。町では、平成元年施行の「御代田町環境保全条例」により自然・生活環境の保全に取り組むとともに、積極的・計画的に道路や下水道等の社会資本整備を進めてきました。これにより、居住者対象のアンケートにおいても「自然環境の良さ」「地理的な交通の便の良さ」「子育て環境の良さ」が挙げられ、御代田町の住みよさが高く評価された結果となりました。

医療 健康でいきいきと暮らせるまち

■脳血管疾患による死者数(人口10万人当たり) **第72位**
■悪性新生物(がん)による死者数(人口10万人当たり) **第76位**

御代田町は、澄んだ空気、浅間のおいしい水、安全で安心な農作物といった健康を増進する環境に恵まれています。健康診断の推奨や若年世代の料理教室、ポールを使った健康ウォーキングなど、体系的な生活改善プログラムを構築し、病気の予防を積極的に進めることにより、健康なまちづくりを進めています。

御代田町の歩み



合併調印式 (S31年)



久保沢橋竣工 (S34年)



御代田中学校旧校舎 (開校S35年)



露切橋竣工 (S39年)



現庁舎竣工 (S42年)



御代田駅竣工 (S46年)

昭和31年(1956)
9-30 小沼村、御代田村、伍賀村が合併し「御代田町」が誕生。
11-8 初の町長選挙が行われる。

昭和32年(1957)
1-26 町工場誘致条例が制定される。
2-1 下宿・荒田・西屋敷・茂沢・乗瀬・水出の6集落が浅間町・軽井沢町・小諸市にそれぞれ分町。
4-1 西畷沢、軽井沢町より分町。御代田町に合併。
4-1 国民健康保険が実施される。
7-27 御代田町初の農業委員が決まる。
9-20 合併後初の町議選挙が行われる。

昭和33年(1958)
3-15 『御代田村誌』ができる。
11-10 浅間山小規模爆発。
昭和34年(1959)
4-27 久保沢橋竣工。
8-14 台風7号猛威をふるい大災害となり、災害救助法が適用される。
9-26 伊勢湾台風で御代田小学校屋根瓦に被害。
12-10 面替橋竣工。
12-21 統合中学校新校舎竣工。

昭和35年(1960)
3.15 中学校新校舎で開校式、続いて青空卒業式。
7-4 御代田中学校の管理棟竣工。
9-23 第1回町民運動会。
昭和36年(1961)
9-2 桜ヶ丘町営住宅建築工事が始まる。
9-5 中学校体育館と西校舎竣工。
10-1 国民年金(福祉)支給される。
11-18 NHKのど自慢大会が中学校体育館で行われる。

昭和37年(1962)
9-10 低開発地域工業開発地区の指定を受ける。
11-16 御代田町商工会発足。
昭和38年(1963)
3-16 中学校で給食開始。
7-15 信越本線の碓氷新線使用を開始、長野・上野間に直通電車が走る。
10-18 都市計画区域として指定される。

昭和39年(1964)
3-26 小田井簡易郵便局が開局。
8-5 皇太子ご一家来町、農業見学をされる。
9-5 御代田中学校にプール竣工。
10-12 東京オリンピック聖火が国道18号を通過。
12-17 露切橋竣工。
昭和40年(1965)
3-25 町文化財保護条例ができる。
4-一 第1保育所開所。
4-23 雪窓湖完成。

昭和41年(1966)
10-1 信越本線、特急あさまの運転開始。
昭和42年(1967)
3-29 役場新庁舎開庁式。
4-一 第2保育所開所。
6-16 未曾有の集中豪雨、塩野・馬瀬口地区を襲う。
6-18 草越地区を中心に町全域に卵大の降雹、出荷前の野菜など農作物被害・家屋被害。被害総額4億円。

8-25 御代田町章決定。
11-一 軽井沢大橋竣工。
昭和43年(1968)
11-1 80歳以上の老人医療費が無料となる。
昭和44年(1969)
2-1 御代田町有線放送が開局、放送開始。
3-25 母子健康センター竣工。
昭和45年(1970)
7-1 谷浜に御代田町「海の家」竣工。
昭和46年(1971)
4-26 第3保育所開所。(現やまゆり保育園)
4-26 新御代田駅竣工。
8-15 第1回御代田町観光夏まつり開催。
10-1 広域消防本部が発足。

昭和47年(1972)
2-14 御代田町広域清掃工場建設反対総決起大会開かれる。
4-1 70歳以上の老人医療費が無料になる。
7-8 佐久北消防署御代田分署発足。
昭和48年(1973)
2-4 浅間山中規模噴火。
3-5 御代田町土地開発公社が発足。
4-1 町早起き野球連盟結成。
昭和49年(1974)
1-14 町福祉センター竣工。
4-1 上ノ林霊園が開設される。
4-1 平和台区が発足。
5-4 大浅間ゴルフ場上の国有林で大火災起こる。
7-13 町体育協会が設立される。
8-一 第4保育所開所。
8-15 第1回各区対抗野球大会開催。
第1回町民卓球大会開催。
平和台の町営住宅竣工。
第1回老人体育祭開催。
栄町に現御代田郵便局できる。

昭和50年(1975)
3-26 2B級救急自動車御代田分署に配備。
昭和51年(1976)
2-21 北佐久農業高校の御代田分校が開校。
昭和52年(1977)
3-一 第一次長期振興計画策定。
4-1 統合の南・北小学校開校。
昭和53年(1978)
3-24 町商工会館竣工。
11-30 湯川ダム竣工。
昭和54年(1979)
3-20 第1児童館(現平和台児童館)竣工。
昭和55年(1980)
3-一 南小学校教室1棟増設。
5-1 国土地籍調査が始まる。
11-11 御代田B&G海洋センター開所。

昭和56年(1981)
7-一 海洋センターにプール竣工。
昭和57年(1982)
8-8 龍神まつり始まる。
12-一 南小学校音楽教室増設。
12-6 北陸新幹線環境アセス案公表される。
昭和58年(1983)
4-一 湯川橋竣工。
4-1 佐久広域老人ホーム豊昇園が開園。
4-8 浅間山中規模噴火。
4-28 町保健センター竣工。
10-15 雪窓公園に町営テニスコート竣工。
11-23 第1回町民健康マラソン大会開催。

昭和59年(1984)
3-15 第2児童館(現東原児童館)竣工。
昭和60年(1985)
2-一 中学校給食室竣工。
12-16 町営弓道場開場。
昭和61年(1986)
2-26 中学校の増改築工事竣工。
7-9 雇用促進住宅が児玉竣工。
昭和62年(1987)
3-一 第二次長期振興計画策定。
3-31 母子健康センター閉鎖。
4-1 隣保館開館。(現人権啓発センター)
4-1 佐久北消防署御代田分署が佐久広域消防本部御代田消防署に昇格。
9-25 町民憲章、町花ヤマユリ・町木いちいを制定。
昭和63年(1987)
5-17 御代田町と小諸市の共同ごみ焼却処理施設「浅籠クリーンセンター」が小諸市南ヶ原に竣工。
6-25 町スポーツ少年団結成大会開かれる。
11-一 雪窓公園野球場竣工。
平成元年(1989)
1-一 南小学校教室1棟増設。
3-31 町環境保全条例が制定される。
10-16 国土利用計画法により「地価監視区域」に指定される。
平成2年(1990)
4-1 町誌編集事業始まる。
12-14 御代田町信越線存続強化期成同盟会町民総決起大会行われる。
平成3年(1991)
2-一 町のデイホーム、デイサービス始まる。
3-27 都市計画街路「御代田佐久線」が開通。(かりん道路)
4-30 小諸・御代田広域シルバー人材センター発足する。
5-16 北陸新幹線工事の残土による久保沢の埋立て工事開始。
平成4年(1992)
3-4 北陸新幹線杭打ち式開催。
4-1 雪窓公園完成。
4-20 中学校第二体育館竣工。
7-22 第4回長野県佐久大理石彫刻家シンポジウムが雪窓公園にて開会。
平成5年(1993)
3-27 上信越自動車道佐久I.Cまで開通。
4-27 広域農道(浅間サンライン)開通。
7-25 信州博覧会「御代田の日」に龍の舞が出演。
11-3 第1回きなんしまつり開催。
平成6年(1994)
4-1 佐久警察署御代田町交番開設。
4-2 雪窓保育園開園。
10-1 やまゆり公園完成。
平成7年(1995)
6-23 やまゆりライン開通。
7-12 草越バイパス開通。
7-14 北陸新幹線御代田町分工事着工。
7-23 メルシャン軽井沢美術館開館。
8-13 御代田町有線放送農業協同組合解散。
9-1 オフトーク通信サービス開始。
9-30 第1回「御代田町を美しくする日」を開催。
10-18 勤労者体育館竣工。(やまゆり体育館)
12-一 国土利用計画第一次御代田町計画策定。

平成8年(1996)
3-一 第三次長期振興計画策定。
3-25 公共下水道御代田浄化管理センター竣工。
4-1 大林児童館開館。
10-31 井戸沢一般廃棄物処分場竣工。
11-1 ごみ処理有料化。
平成9年(1997)
8-一 ふるさと大橋竣工。
10-1 北陸新幹線・しなの鉄道開業。
10-16 ふるさと農道開通。

平成10年(1998)
1-22 草越・広戸地区農業集落排水処理場竣工。
1-26 長野冬季オリンピック聖火が御代田を走る。
3-31 龍神の社公園完成。
5-1 県営住宅平和台団地1号棟竣工。
8-25 やまゆり工業団地造成完了。
10-1 地域福祉センター開所。(ハートピアみよた)
12-8 新消防庁舎竣工。
平成11年(1999)
3-一 新大谷地橋竣工。
6-7 焼町土器が国重要文化財の指定を受ける。

平成12年(2000)
4-1 介護保険制度始まる。
7-一 新三ツ谷橋竣工。
9-21 塩野御代田停車場線改良。
9-30 やまゆり保育園大規模修繕工事竣工。
11-24 馬瀬口バイパス開通。
平成13年(2001)
12-4 役場駐車場にATM(現金自動支払機)が開設。
平成14年(2002)
8-26 佐久市、臼田町、浅科村、御代田町任意合併協議会設立。
12.1 プラスチック製容器包装の分別収集始まる。

平成15年(2003)
2-28 桜ヶ丘町営住宅建替工事竣工。
4-8 複合文化施設まなびの館工コールみよた開館。
8-8 児玉荒町線開通。
9-26 佐久市、臼田町、浅科村との任意合併協議会から離脱。
平成16年(2004)
4-1 自律・協働のまちづくり推進計画策定。
9-1 浅間山中規模噴火。

平成17年(2005)
3-31 御代田町次世代育成支援行動計画の策定。
4-1 雪窓保育園の増築工事竣工。
4-15 御代田町やまゆり共同作業所開所。
平成18年(2006)
3-一 第四次長期振興計画策定。
3-一 南小学校教室1棟増設。
9-30 町制施行50周年記念式典。
平成19年(2007)
9-6 台風9号により大きな被害。停電、倒木、土砂崩れ、農作物への被害が発生。

平成20年(2008)
4-1 御代田町のふるさと納税(寄附)が始まる。
4-1 75歳以上を対象とした後期高齢者医

療制度が始まる。
9-12 フレンドリー図書館貸出利用者20万人到達(突破) <H15.4オープン>
平成21年(2009)
4-1 社会資本整備総合交付金都市再生整備計画(旧まちづくり交付金)事業が始まる。
10-30 B&G海洋センターの「町民広場」が「芝生広場」に名称変更。

平成22年(2010)
12-一 国土利用計画第二次御代田町計画策定。
平成23年(2011)
4-1 御代田中学校(新校舎)開校。
4-7 学校給食共同調理場(親子方式)での給食開始。
9-30 一里塚地区世代間交流センター竣工。
12-9 御代田中学校建替え工事竣工。

平成24年(2012)
2-9 御代田町観光協会マスコットキャラクター「みよたん」誕生。
3-23 広戸地区世代間交流センター竣工。
3-23 向原地区世代間交流センター竣工。
3-26 塩野地区世代間交流センター竣工。
6-11 浅間しゃくなげ公園完成。
7-7 浅間縄文ミュージアム入館者30万人到達。(H15.4オープン)

平成25年(2013)
3-22 豊昇ふるさと公園完成。
3-15 小田井地区世代間交流センター竣工。
4-30 清万地区世代間交流センター竣工。
4-30 児玉地区世代間交流センター竣工。
5-6 第1回「浅間しゃくなげ公園まつり」開催。

平成26年(2014)
2-14 記録的大雪により、住民生活の混乱と農業施設への被害が発生。
3-28 豊昇地区世代間交流センター竣工。
4-1 社会資本整備総合交付金都市再生整備計画第2次事業が始まる。
7-22 栄橋架替工事竣工。
10-1 佐久市・立科町・軽井沢町と「佐久市・北佐久郡環境施設組合」を設立。
12-19 三ツ谷地区世代間交流センター竣工。

平成27年(2015)
5-29 「信州みよたクラインガルテン大星の杜・面替」竣工。
10-一 役場新庁舎建設地をメルシャン跡地に決定。

10-26 御代田町人口ビジョン・総合戦略策定。
平成28年(2016)
3-一 第五次長期振興計画策定。
3-一 大林児童館増築工事竣工。
3-一 フレンドリー図書館貸出利用者50万人到達。(H15.4オープン)
3-31 メルシャン蒸留施設倉庫解体。
7-31 役場新庁舎敷地造成工事竣工。
9-30 町制施行60周年記念式典。

御代田町 GUIDE MAP



御代田町観光キャラクター
みよたん®



浅間しゃくなげ公園



大浅間ゴルフクラブ



真楽寺



やまゆり公園



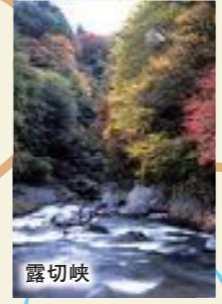
雪窓湖



雪窓公園



雪窓公園 球場



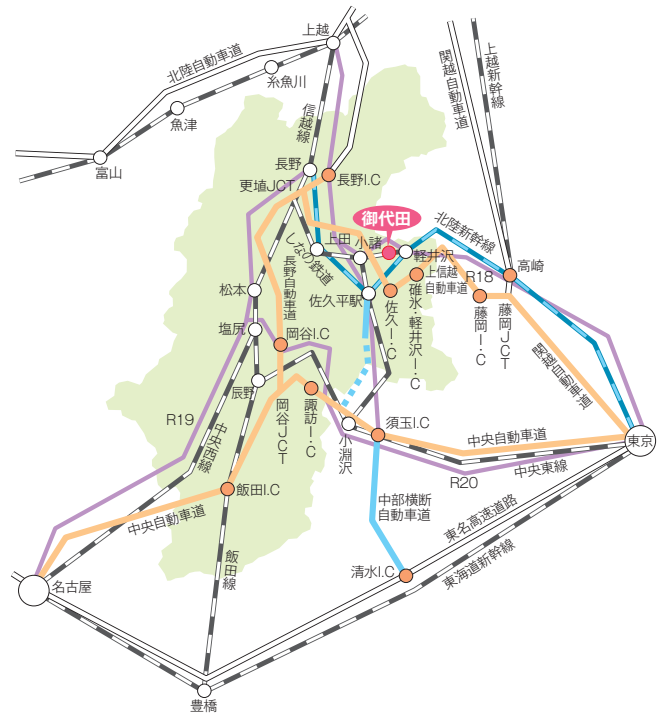
露切峡



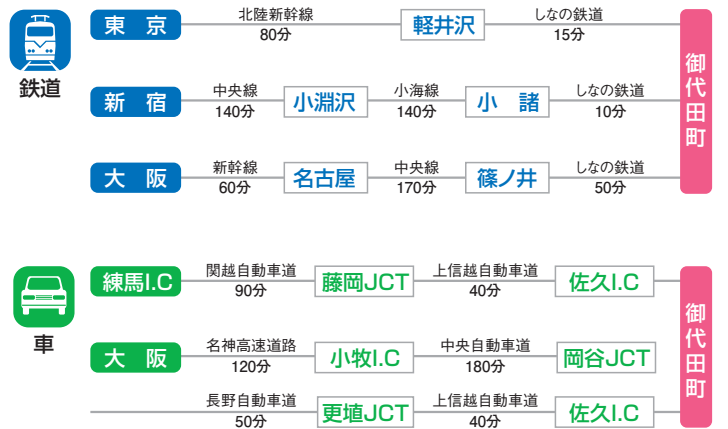
グランディ軽井沢ゴルフクラブ 森泉コース



龍神の杜公園



御代田町へのアクセス



□発行：2016年9月 御代田町
 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2
 TEL.0267-32-3111 FAX.0267-32-3929
<http://www.town.miyota.nagano.jp>

□編集：御代田町企画財政課 □制作：ユニ企画印刷(有)